

令和4年度 地域福祉活動支援事業 ホームページ用報告書

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、助成事業の概要を簡潔に記入してください。

※必要事項を記入または☑ 1ページ以内に収まるよう作成

団体名	かわさき wai(ワイ)の会
団体の属性	<input checked="" type="checkbox"/> ヘルプグループ・当事者等 <input type="checkbox"/> ボランティアグループ等 <input type="checkbox"/> 市町村社協やそれを構成員とする実行委員会等
助成区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般助成 <input type="checkbox"/> 協働モデル助成 <input type="checkbox"/> 協働モデル助成 協働モデル助成 本会提示テーマ
助成事業名	認知症の症状を軽くする4つのケアの講習会
事業の目的	4つのケアより、認知症症状の軽減・認知症本人の自立性向上・介護家族の負担軽減を目指す
事業概要	<p>「認知症の症状を軽くする4つのケアの講習会」とは、平成28年10月に川崎市主催の「認知症あんしん生活実践塾」で学習を終えた認知症の家族を持つ有志が会を立上げ、講師を招いて認知症介護の勉強会を行っています。4つのケアを学び実践することにより認知症の症状を軽くし、それにより認知症の本人が自立性を取り戻し、また介護する家族の負担を軽減することができます。またその実践を介護する仲間や地域に伝えることも目的としています。</p>
成果や課題	<p>「認知症の症状を軽くする4つのケアの講習会」では、4つのケア（水分・栄養・運動・便通）に関し国際医療福祉大学大学院 准教授 小平めぐみ先生をはじめ、専門分野の先生方による講義、事例検討と介護指導、認知症介護に関する情報交換を行ってきました。今年度はコロナ禍で開催できなかった公開講座を二年超しに開催でき、多くの市民の方にご参加いただきました。定例会をはじめ参加者からは「認知症介護への理解が深まった」「今後の自立支援に生かしていきたい」といった声が数多く寄せられました。</p> <p>5/17 会場とオンライン会議 [参加者16名] 事例検討、他 小平めぐみ先生 8/10 会場とオンライン会議 [参加者17名] 事例検討、他 小平めぐみ先生 専門領域講義「入所施設の種類と選択基準の判断」(福)春日会 特養等々カ 岩壁信行氏 11/29 会場とオンライン会議 [参加者21名] 事例検討、他 小平めぐみ先生 2/15 会場とオンライン会議 [参加者21名] 事例検討、他 小平めぐみ先生 専門領域講義「認知症に備えるお金の対策」かわさき市民後見をすすめる会 佐藤康晴氏</p> <p>【公開講座】9/23開催 会場とオンライン会議 [参加者45名] ・挨拶 川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室 鈴木宣子課長 ・講義 認知症の根本 ～「認知」を学ぼう～ (一社)日本自立支援介護・パワーリハ学会会長 竹内孝仁先生</p>
今後の展望	<p>新型コロナ感染対応で始めた定例会は現地とオンライン会議のハイブリッド型開催が定着、引き続き仕事や介護、遠方で参加できない方のためにもオンライン会議を併用して開催していきます。今後はさらに広報を充実させ、多くの方に参加していただくようにしていきます。また参加者を増やし自主財源の確保を目指していきたいです。</p>
活動の様子が分かる画像 2枚程度添付	 